



平成 27 年 2 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 27 年 1 月 9 日

上場会社名 ディップ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2379

URL <http://www.dip-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 富田 英揮

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営管理本部長 (氏名) 渡辺 永二 (TEL) 03(5114)1177

四半期報告書提出予定日 平成 27 年 1 月 14 日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 27 年 2 月期第 3 四半期の業績 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27 年 2 月期第 3 四半期	14,360	52.1	3,171	178.8	3,180	182.7	1,788	206.5
26 年 2 月期第 3 四半期	9,439	37.3	1,137	—	1,124	—	583	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27 年 2 月期第 3 四半期	161.50	—
26 年 2 月期第 3 四半期	52.80	52.75

(注) 平成 26 年 2 月期第 3 四半期の経営成績 (累計) は、会計基準等の改正に伴う会計方針の変更による遡及適用後の数値です。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27 年 2 月期第 3 四半期	9,854	5,562	56.3
26 年 2 月期	7,710	4,316	56.0

(参考) 自己資本 27 年 2 月期第 3 四半期 5,543 百万円 26 年 2 月期 4,316 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26 年 2 月期	—	0.00	—	23.00	23.00
27 年 2 月期	—	26.00	—	—	—
27 年 2 月期(予想)	—	—	—	19.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成 27 年 2 月期の業績予想 (平成 26 年 3 月 1 日～平成 27 年 2 月 28 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	19,000	45.6	4,000	133.3	4,006	135.3	2,241	138.3	202.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

業績予想の修正については、本日 (平成 27 年 1 月 9 日) に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
④ 修正再表示 : 有・無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	12,400,000株	26年2月期	12,400,000株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	1,326,734株	26年2月期	1,326,734株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	11,073,266株	26年2月期3Q	11,053,158株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、平成27年1月13日(火)に当社ホームページに掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、一部の景気指標に弱さがみられるものの、政府の各種政策や日銀の金融緩和を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、消費者マインドの低下や海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意が必要な状況となっております。

国内の雇用情勢につきましては、平成26年11月の完全失業率(季節調整値)は3.5%と前月と同率で推移し、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.02ポイント上昇の1.12倍と、平成4年5月(1.13倍)以来22年6カ月ぶりの高水準となる等、回復基調が続いております。

このような環境のなか、主力事業であるメディア事業において、営業力及び商品力を継続的に強化するとともに、第2四半期累計期間に引き続き積極的な広告宣伝投資を実施し、認知度の向上及びユーザー拡大に努めてまいりました。

エージェント事業におきましては、キャリアアドバイザーの教育強化及び医療機関との連携を強化するとともに、効果的な広告宣伝施策により、看護師集客力の向上に注力してまいりました。

これらの施策の効果に加え、メディア事業の「バイトル」、「はたらこねっと」において、求人需要の高まりが継続したこと等により、当第3四半期累計期間の売上高は143億60百万円(前年同四半期比52.1%増)となりました。

営業利益、経常利益につきましては、積極的な広告宣伝投資を実施したものの、売上高が堅調に推移したことにより、営業利益31億71百万円(前年同四半期比178.8%増)、経常利益31億80百万円(前年同四半期比182.7%増)となりました。なお、四半期純利益は17億88百万円(前年同四半期比206.5%増)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

① メディア事業

メディア事業におきましては、求人広告事業である「バイトル」、「はたらこねっと」等の事業を運営しております。

「バイトル」におきましては、当事業年度より職種・業種に特化した専門サイトを公開しており、10月には現代の雇用問題に対応した、外国人向け「ハローバイトル」・シニア層向け「グラン・ジョブ」・主婦主夫向け「パートでバイトル」の3サイトを専門サイト第3弾として同時公開いたしました。働きたい職場が予め決まっているユーザーが求める情報を集め、それぞれの職種・業種・属性に合わせたコンテンツや検索軸を実装し、ユーザーの利便性向上に努めてまいりました。加えて、11月には社員求人専用サイト「バイトル社員」において、スマートフォン版サイトを新設するとともにPC版サイトのリニューアルを実施し、媒体力の強化に取り組んでまいりました。

広告宣伝活動といたしましては、アイドルグループAKB48グループのAKB48、SKE48、NMB48、HKT48の4グループ全てと広告契約を交わし「バイトル」のTVCF等に起用し、積極的に展開いたしました。9月には「バイトル」を通じてAKB48の公式メンバーをアルバイトで募集する「バイトAKBプロジェクト」を実施し、10月からは採用された50名の「バイトAKB」メンバーが初出演を果たす新TVCF「バイトルローテーション」全3篇を全国放映してまいりました。

また、「地元につよい」媒体を目指し、業界初となる「アルバイト」をテーマとしたTV番組を「バイトル」単独提供にて全国4TV局で展開し、認知度の向上及びユーザー基盤の強化を図ってまいりました。さらに、LINE株式会社が運営する無料通話・無料メールスマートフォン向けアプリ「LINE」の公式アカウントを8月に開設しユーザーに有益な情報を配信するとともに、9月よりオリジナルスタンプを4週間限定で無料配信し、ユーザー満足度の向上を目指してまいりました。

「はたらこねっと」におきましては、9月末に姉妹サイトとして新たに日本最大級となる女性の求人・転職サイト「はたらこindex」をオープンいたしました。女性求職者向けに、正社員、契約社員、派遣、パート・アルバイトなどあらゆる雇用形態の求人情報を87,000件以上掲載し、特に人気の高い事務職求人情報は30,000件以上載せることで、ユーザービリティの高いサービスを提供いたしました。

また、第2四半期累計期間に続き、女優の上戸彩さんを起用したTVCFを放映し、認知度の向上及び新たなユーザー獲得に努めてまいりました。

上記施策とともに営業活動を強化し、「バイトル」、「はたらこねっと」の契約社数及び掲載情報数の拡大に注

力した結果、当セグメントにおける売上高は124億74百万円(前年同四半期比63.4%増)となりました。セグメント利益は売上高の増加に伴い39億91百万円(前年同四半期比118.4%増)となりました。

② エージェント事業

エージェント事業におきましては、「ナースではたらこ」サイトへご登録いただいた転職を希望される看護師へ、医療機関を紹介する人材紹介事業を運営しております。

当第3四半期累計期間におきましては、キャリアアドバイザーの教育強化及び医療機関との連携の強化を図るとともに効果的な広告宣伝を実施した他、9月末にはユーザー登録を促進するサイト改修を行うことで登録者数増加に向けた基盤強化を図ってまいりました。また、サイト内に面接対策・自己PR・志望動機などのコンテンツを作成し、看護師集客力の向上に努めてまいりました。

なお、事業開始より看護師満足度の向上のためのきめ細かい看護師サポートを継続した結果、平成26年4月に発表された楽天リサーチによる看護師人材紹介会社顧客満足度ランキングにおいて3年連続第1位を獲得し、当社サービスにおける高い評価をいただくこととなりました。

これらにより、当セグメントにおける売上高は18億86百万円(前年同四半期比4.6%増)、セグメント利益は3億92百万円(前年同四半期比67.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末と比較し21億44百万円増加し、98億54百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加10億7百万円、受取手形及び売掛金の増加9億75百万円によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較し8億97百万円増加し、42億91百万円となりました。主な要因は、未払金の増加2億79百万円及び未払法人税等の増加2億88百万円、その他の流動負債の増加4億35百万円、返済による短期借入金の減少2億円によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末と比較し12億46百万円増加し、55億62百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想につきましては、平成26年9月12日に公表いたしました平成27年2月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成27年1月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,969,964	3,977,331
受取手形及び売掛金	1,736,841	2,712,002
仕掛品	192	14
貯蔵品	31,728	16,100
その他	435,377	556,882
貸倒引当金	△100,084	△133,171
流動資産合計	5,074,020	7,129,159
固定資産		
有形固定資産	342,673	427,087
無形固定資産		
ソフトウェア	1,617,167	1,765,837
その他	158,952	76,504
無形固定資産合計	1,776,120	1,842,342
投資その他の資産		
その他	519,620	464,510
貸倒引当金	△8,700	△8,581
投資その他の資産合計	510,919	455,928
固定資産合計	2,629,713	2,725,358
繰延資産		
開発費	6,349	-
繰延資産合計	6,349	-
資産合計	7,710,082	9,854,517
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,293	183,558
短期借入金	800,000	600,000
未払金	944,890	1,224,017
未払法人税等	815,037	1,103,650
返金引当金	29,760	25,397
資産除去債務	-	2,448
その他	452,209	887,271
流動負債合計	3,174,191	4,026,342
固定負債		
株式給付引当金	49,905	67,014
資産除去債務	133,320	165,452
その他	36,476	32,931
固定負債合計	219,703	265,398
負債合計	3,393,894	4,291,740

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,085,000	1,085,000
資本剰余金	1,135,509	1,135,509
利益剰余金	2,590,813	3,817,812
自己株式	△495,134	△495,134
株主資本合計	4,316,188	5,543,187
新株予約権	-	19,590
純資産合計	4,316,188	5,562,777
負債純資産合計	7,710,082	9,854,517

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	9,439,470	14,360,853
売上原価	1,205,914	1,334,069
売上総利益	8,233,556	13,026,784
販売費及び一般管理費	7,096,180	9,855,621
営業利益	1,137,375	3,171,162
営業外収益		
受取利息	134	272
保険配当金	5,837	6,297
備品売却収入	273	4,341
その他	4,683	2,477
営業外収益合計	10,929	13,388
営業外費用		
支払利息	8,020	3,920
シンジケートローン手数料	14,894	-
その他	468	477
営業外費用合計	23,383	4,397
経常利益	1,124,921	3,180,153
特別損失		
固定資産除却損	0	1,051
特別損失合計	0	1,051
税引前四半期純利益	1,124,921	3,179,102
法人税、住民税及び事業税	557,727	1,477,597
法人税等調整額	△16,370	△86,880
法人税等合計	541,357	1,390,716
四半期純利益	583,564	1,788,385

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(株式付与E S O P信託制度について)

前事業年度より「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を適用しております。これに伴い、前第3四半期累計期間の四半期損益計算書については、遡及適用後の数値を記載しております。

(1) 制度の概要

当社が当社従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者として、当社株式の取得資金を拠出することにより信託を設定します。当該信託は予め定める株式付与規程に基づき当社従業員に交付すると見込まれる数の当社株式を、株式市場から予め定める取得期間中に取得します。その後、当該信託は株式付与規程に従い、信託期間中の従業員の等級や勤続年数に応じた当社株式を、在職時又は退職時に無償で従業員に交付します。

(2) 信託に残存する自社の株式

E S O P信託口が所有する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前事業年度122,985千円、383,600株、当第3四半期会計期間122,985千円、383,600株であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2
	メディア事業	エージェンツ事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	7,636,541	1,802,928	9,439,470	—	9,439,470
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	7,636,541	1,802,928	9,439,470	—	9,439,470
セグメント利益	1,827,841	234,353	2,062,195	△924,819	1,137,375

(注) 1. セグメント利益の調整額△924,819千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当事業年度より「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を適用しております。これに伴い、当第3四半期累計期間については、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2
	メディア事業	エージェンツ事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	12,474,790	1,886,063	14,360,853	—	14,360,853
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	12,474,790	1,886,063	14,360,853	—	14,360,853
セグメント利益	3,991,516	392,407	4,383,923	△1,212,760	3,171,162

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,212,760千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。